

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成27年3月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は8から4に減少。「減少した」業種は1から4に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は5から7に増加。「減少した」業種は15から7に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は4から2に減少。「悪化した」業種は8から7に減少。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は4から5に増加。「減少した」業種は7のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から3に減少。「減少した」業種は14から15に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は6から4に減少。「悪化した」業種は13のまま変化なし。

製造業

■しように製造

【県内全域】

主要原料である輸入小麦4月から3%値上げ。

■漬物製造

【県内全域】

ドルが120円で固定しつつあり、コストアップ続く。

■豆腐製造

【県内全域】

小売業と販売店との相違が今後の課題となりそうである。

■酒類製造

【県内全域】

景況の変化は、消費税増税後の落込みの影響から脱し、好転の傾向も見えつつあるものの、好転したとまでは言えない。

■製材

【木更津】

3月は入港船予定なし。荷動きは悪い。4月も現在のところ入港予定なし。

■印刷

【県内全域】

3月の県内受注売上は、2月と比較して若干増加した模様。従来からの年度末に向けての受注に加え、統一地方選挙に係る政党や立候補者からの仕事も活発に動いている。さらに各学校関連や季節需要商品の印刷物、卒業・入学・就職に向けて消費喚起目的の商業印刷物が動いている。円安の影響による食料品等の値上げが相次ぎ、

消費者の財布の紐はなかなか緩まず、価格競争継続中。

■電気鍍金

【県内全域】

景気の回復の兆しは見えてきているが、その力は弱いようだ。中小企業までの好景気の浸透はこれからのようだ。

■鉄工

【千葉】

足元の各社動向は、全体として売上横ばい・収益面厳しい状態での推移が続いている。

■機械部品製造

【野田】

操業度が安定してきている状況にある。

■機械部品製造

【流山】

好調な業種が出てきている。燃料価格が上昇傾向にありコスト増加になりそう。

■機械部品製造

【柏】

個々の動きはあるものの、全体的に景況感は良くない。

■金属製品製造

【船橋】

年度末を迎え、受注量は例年通り大幅に増加している。来期以降についても通常受注は増加傾向になっている。

■採石

【県内全域】

3月は出荷が前月より減少。3月も湾岸低気圧の影響で東京湾が荒れて船舶による運搬の中断や工

事現場の工事の中断によるところが大きい。先月比で50%減であるが、年度単位では前年度の1・45倍の増となっている。横浜港等スーパードック等の整備と羽田空港の1層のハブ化を図るための第5滑走路の建設を期待している。東京オリンピック施設のための岸壁整備は来年度以降になる予定。経済の好況について、燃油価格の引き上げが予想されるなど、今後の見通しがつかない。

【土砂採取】

【県内全域】

総体的に微減。業界動向も本来の出荷に戻っていない。

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】

総じて昨年同月は消費増税前の売上増あったが、今年は例年並み又若干低めの売上となっている。【食肉卸】病院・社員食堂・寮・給食施設等の受託会社グループのシェアードサービスに係る大型契約を受注。従業員確保のため、パート職員の時給を上げざるを得ない。

【建築材料卸売】

【県内全域】

景況の変化について、グローバル企業は円安・為替差益・規制緩和の恩恵で最高益更新。ローカル企業は、輸入コスト増・需要減・

デフレ継続で窮乏状態続く。中小企業は回復の兆しなし。業界動向は、需要は当分低迷続くこと必至。金融緩和で倒産が少なかったが、千葉中小ゼネコンの仕事がなくなっているのに要注意か。

【自動車解体】

【県内全域】

更にスクラップ価格が下落し、景況悪化している。昨年末以来悪化の傾向。他県の同業者から従業員数を減らしているという情報もあり。組合数は2社廃業の為減。

【乾物卸売】

【県内全域】

全国生産量体前年比105%、金額123%。千葉県は同生産量87%、同102%。生産量の減少により強い相場で推移している。3/28「千葉城さくら祭り」に「千葉のりロール」の販売を予定。

【卸売】

【茨原】

大企業ではベースアップで好景気配ではあるが、まだまだ中小企業にいたるまでは時間がかかる。また地方に及ぶまでも時間がかかる。

【電気機器小売】

【県内全域】

景況の変化について、メーカーの中でシャープが特に厳しいようだ。これからも韓国、中国の追い上げで、家電メーカーは苦しむこ

とになる。消費者は国産でなくとも良いものがあれば韓国製、中国製を買うと思われる。

【中古車仕入・販売】

【県内全域】

年度末に向けてタマの増加が顕著に現れている。軽自動車の新古車の出品が増えている。相場も安定しており成約状況も良い状態が続いている。輸出は円安による所が大きく、順調に推移している。まだまだ伸びることが予想される。

【小売】

【東金】

景況の変化について、ファッション関連品は、客単価が上がらず、件数も減少が続いている。新入学関連は、動いているが微妙に減少傾向。食品関係は、メーカー等の値上がりしている。

【小売】

【野田】

景況の変化について、セール・イベントなどを積極的に展開したが、入学・卒業・就職シーズンの季節商品が振るわず、売上げは低調であった。

【小売・サービス】

【柏】

全体には個人消費の冷え込みが顕著で購買に慎重さを感じられる。本当にほしいもの以外は衝動買いをしない。

【建設揚重】

【県内全域】

クレーンの稼働状況は良好。

【遊覧船】

【鴨川】

天候不順による欠航日が多く前年並みで伸びなし。

【一般廃棄物処理】

【千葉】

初旬は繁忙期を感じさせない状況だったが、中旬から急に忙しくなったように思う。

【学習塾】

【県内全域】

中学3年生が高校進学で抜けるのと、新しく入塾してくる生徒とのバランスがとれる月である。

【建設】

【県内全域】

年度末発注ということもあり、前月比では好調な落札状況であった。年度トータルでは10%強のマインラスとなった。

【貨物運送】

【野田】

年度末ということもあり輸送台数は増えていると感じる。大手輸送業者は大幅な賃金ベースアップの報道があるものの、我々運送業にはいまだ厳しい。大手業界には賃金の次に仕入れや輸送費などもUPするようお願いしたい。

【輸出入】

【県内全域】

3月の売上は前月比増加。前年度同月比は不変であった。